

災害対策特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	河野 義博（公明）	佐藤 啓（自民）	野田 国義（民進）
理事	酒井 庸行（自民）	佐藤 信秋（自民）	浜口 誠（民進）
理事	そのだ 修光（自民）	自見 はなこ（自民）	吉川 沙織（民進）
理事	小林 正夫（民進）	馬場 成志（自民）	武田 良介（共産）
理事	杉 久武（公明）	藤川 政人（自民）	室井 邦彦（維新）
	足立 敏之（自民）	藤木 眞也（自民）	木戸口 英司（希望）
	磯崎 仁彦（自民）	渡辺美知太郎（自民）	(29.9.28 現在)

（1）審議概観

第194回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

第193回国会閉会後の7月31日、平成29年7月九州北部豪雨による被害状況等の実情調査のため、福岡県及び大分県に委員派遣を行った。

第193回国会閉会後の8月10日、前記委員派遣について、派遣委員から報告を聴取した。また、平成29年6月30日以降の梅雨前線に伴う大雨及び台風による被害状況等について、小此木内閣府特命担当大臣（防災担当大臣）から報告を聴取した後、質疑を行い、激甚災害指定に時日を要する理由と指定の迅速化に向けた取組、平成29年7月九州北部豪雨等により被災した農業者の早期営農再開のための支援方策、合併特例事業債の期限延長に係る被災地方公共団体の要望に対する国の対応、九州北部豪雨に係る流木処理と河川・道路・鉄道路線等の復旧見通し、集中豪雨の頻発化に伴う集落の孤立化対策、一連の豪雨災害に対応した補正予算の編成・被災地方公共団体への財政支援等の必要性、被災者生活再建支援施策の

強化の在り方、九州北部豪雨の被災地における地場産業・観光業等の復興に向けた支援策、洪水ハザードマップ未作成市町村の存在に対する国の見解と自主防災マップの取組促進、九州北部豪雨により被災した窯業の小石原焼及び養鯉業の復興支援、流木災害等に対する治山対策検討チームにおける検討状況、再度災害の防止に向けた災害復旧事業における改良復旧の積極的活用、梅雨前線豪雨に伴う秋田県内公共土木施設の激甚災害指定の見通し、米海軍病院船の日本寄港に向けた取組及び病院船を活用した医療搬送訓練等の実施、被災に伴い一人も離農・廃業はさせないとの決意により支援を行うことの必要性、被災中小企業に対するグループ補助金等による直接支援の必要性、九州北部豪雨に伴い発生した漂流・漂着物の回収・処理に係る国の取組、被災過疎地域等における中長期的視点に立った復旧・復興計画の策定に対する国の支援、地域住民に対する避難勧告等の周知の在り方、被災地方公共団体における土木技術職員等の確保方策などの諸問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成29年8月10日(木) (第193回国会閉会後 第1回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 平成29年6月30日以降の梅雨前線に伴う大雨及び台風による被害状況等に関する件について小此木内閣府特命担当大臣から報告を聴いた。
- 平成29年7月九州北部豪雨被害からの復旧・復興に関する件、集中豪雨発生時における集落の孤立化対策に関する件、激甚災害指定の迅速化に向けた取組に関する件、観光産業の風評被害対策に関する件、米海軍病院船の日本寄港に係る取組に関する件、被災者生活再建支援施策の充実に関する件、中長期的視点に立った復旧・復興計画に関する件、地域住民に対する避難勧告の周知等の在り方に関する件等について小此木内閣府特命担当大臣、谷合農林水産副大臣、秋本国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

山田俊男君(自民)、そのだ修光君(自民)、野田国義君(民進)、古賀之士君(民進)、横山信一君(公明)、仁比聡平君(共産)、室井邦彦君(維新)、木戸口英司君(希望)

○平成29年9月28日(木) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。
- 災害対策樹立に関する調査の継続調査について決定した。
- 委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成29年7月31日(月)

- 平成29年7月九州北部豪雨による被害状況等の実情調査

[派遣地]

福岡県、大分県

[派遣委員]

若松謙維君(公明)、そのだ修光君(自民)、山田俊男君(自民)、川合孝典君(民進)、平木大作君(公明)、仁比聡平君(共産)、室井邦彦君(維新)、木戸口英司君(希望)